



幼保連携型認定こども園

潟上市立 若竹幼児教育センター

じっくり

たっぷり

思いっきり

遊ぶ子ども



園歌
たのしい若竹幼児教育センター

作詞 黒沢三郎
作曲 高員忠憲

一、さわやかさわやか そよかせも
おはようさんと声かける
みんなまごころよせあつて
あかるくいぎます はげみます
楽しい若竹 楽しい若竹
幼児教育センターは
僕の虹のその

二、にこやかにこやか お日さまも
おはようさんと呼びかける
みんな光の輪になって
夢いまかけます うたいます
ほほえむ若竹 ほほえむ若竹
幼児教育センターは
僕の私の花のくに

三、なごやかなごやか 町なみも
おつかれさんとなぐさめる
みんな幸せかみしめて
すくすく伸びます 育ちます
栄える若竹 栄える若竹
幼児教育センターは
僕の私の愛のにな

沿革の概要

幼稚園

保育園

昭和31年7月 私立若竹幼稚園創立
36年3月 学校法人若竹幼稚園となる
42年4月 飯田川町立若竹幼稚園と改称

昭和44年3月 飯田川町立飯田川保育園創立
48年4月 園舎増築 認定定員200名

若竹幼児教育センター

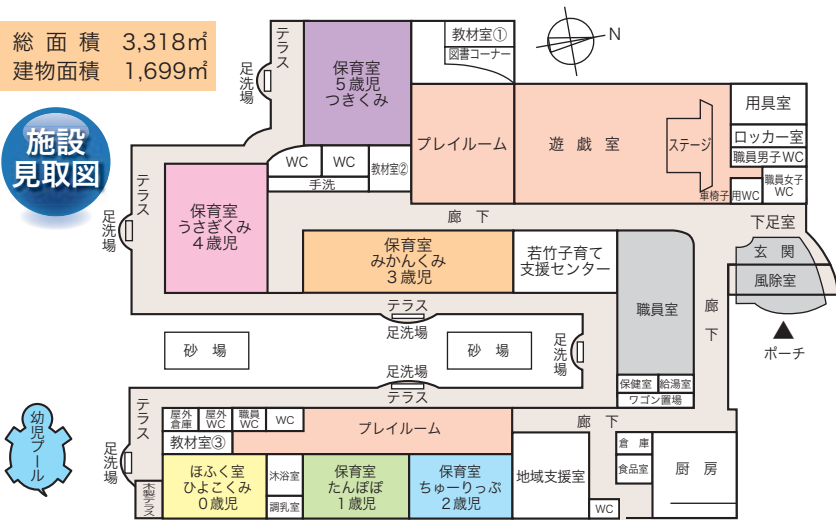
昭和48年	幼稚園と保育園を一体化、名称が飯田川町立若竹幼児教育センターになる	平成12年12月	県公立幼稚園園長研究会開催
48・49年	県研究保育園の指定	15年10月	若竹幼児教育センター創立30周年記念式典挙行
50年11月	第1回自主公開保育研究会開催	16年4月	保育内容専門講師派遣事業(2年間)
53年1月	若竹幼児教育センター運営研究委員会発足	17年3月	町村合併により潟上市立若竹幼児教育センターとなる
53年6月	用地拡張 1,980㎡	17年4月	ハローキッズ推進事業(運動遊びサポーター派遣)
53年10月	第2回自主公開保育研究会開催	17年5月	学校評議員設置(5名)
54年7月	「読売新聞社教育賞」受賞(幼児教育の部)	17年10月	保育内容専門講師派遣事業公開保育
55年2月	園章・園歌制定	18年4月	幼稚園保育園の園舎共用化になる
56年4月	園舎増築 第2保育園開設 認定定員260名	19年4月	若竹子育て支援センター開設
58年10月	第3回自主公開保育研究会開催 (若竹幼児教育センター創立10周年記念)	19年4月	幼保一体化促進事業(研究モデル園指定)
63年9月	県教育委員会委嘱「幼保連携」で公開保育研究会開催	19年10月	「認定こども園」認定
平成4年4月	0歳児保育を実施(保育室一部改造)	20年7月	県公立幼稚園PTA研究協議会提案発表
5年10月	若竹幼児教育センター創立20周年記念式典挙行	21年10月	県公立幼稚園北・中央地区研究会公開保育
8年8月	県公立幼稚園PTA連絡協議会開催	22年1月	秋田県公立幼稚園教育研究協議会発表
10年11月	県公立幼稚園中央地区研究会公開保育	23年10月	秋田県認定こども園公開保育研究協議会開催
11年7月	一時預かり保育開始	25年10月	若竹幼児教育センター創立40周年記念行事開催
12年3月	園舎改築工事着工・第2保育園閉園	27年4月	新幼保連携型認定こども園の届出
12年11月	新園舎竣工	令和3年1月	秋田県公立幼稚園・こども園教育研究協議会研究発表
12年11月	鉄筋コンクリート造 平屋建 保育園定員100名 幼稚園定員100名	4年10月	「わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業」体力向上公開保育

地図



総面積 3,318㎡
建物面積 1,699㎡

施設見取図



潟上市立若竹幼児教育センター

〒018-1502 秋田県潟上市飯田川下虻川字ハッ口80
TEL 018-877-4050 FAX 018-877-7350

園目標

じっくりたっぷり 思いっきり 遊ぶ子どもの育成

めざす保育者像

一人一人を見つめ、子どもを理解する保育者
心身ともに健康で、信頼される保育者
学ぶ心もち、高め合う保育者

めざす子ども像

たくましい子ども
思いやりのある子ども
自分で考えて行動する子ども

基本方針

健康で安全な環境のもと、温かな触れ合いを通して、発達過程を大切に教育・保育を展開し、丈夫な体と豊かな感性をはぐくみます。

教育・保育方針

- ★子どもが本来持っている豊かな感性や主体性、成長しようとする力を育てます。
- ★多様な直接体験ができるように、また自ら進んで遊びに取り組めるように環境による保育を大切にします。
- ★乳幼児の自然な交流を大切に、職員みんなで園全体の子どもの育ちを支えます。
- ★基本的な生活習慣や社会のルールを身に付け、これからの社会を生きる力を育てます。
- ★親と子どもが共に育つように子育てを支え、家庭や地域との関わりを大切にします。
- ★食べる意欲を育み、食から広がる豊かな生活への支援をします。
- ★子どもについて学ぶ姿勢をもち日々の研修を大事にします。

本年度研究テーマ

「多様な経験を積み重ね、思いやりをもって
人やものに関わる子どもを目指して」

～育ちの連続性を捉えた保育者の援助や環境の構成とは～

本年度重点目標

1. 子どもの発達を見通した援助や環境の構成を学び合う

- 互いの保育を見合い、発達を見通した環境づくりを行うために職員全体で子どもの育ちを把握。
- 事例カンファレンスを通して様々な援助や身の回りにある教材を組み合わせるなど環境の構成を学び合う。

2. 他の園児や職員との関わりを通して思いやりを育むための環境づくりを目指す

- 他の園児や職員との関わりの中で、自分の力で行う充実感や満足感を味わえるように職員の連携の在り方や援助について考える。
- 10の姿を意識した指導計画作成から様々な経験を積み重ねることができる「やりたい、やってみたい」と思えるような環境づくりの実践。

一日の保育の流れ

0歳児	1・2歳児	時刻	3・4・5歳児
随時登園・あそび おむつ交換(随時)	随時登園・あそび	7:30	2号認定園児随時登園
		8:00	登園バス出発(2回有)
	わいわいタイム (0.1.2歳児一緒に遊ぶ)	8:30	1号認定園児預かり保育 1号認定園児随時登園 好きな遊び
	排泄(随時)		
保育室へ移動 授乳・睡眠(随時) おやつ(牛乳1歳～)	おやつ(牛乳)	9:00	
		10:00	排泄(随時)
あそび わくわくタイム (各年齢ごとの遊び)			
離乳食(授乳) 必要な子は睡眠 (目覚めている子はあそび)	食事準備・食事 昼寝	11:30	食事準備・食事
そろそろ目覚め	目覚め	13:00	昼寝
おやつ あそび 随時降園	おやつ	14:30	1号降園 バス出発 1号認定園児預かり保育
		15:00	おやつ
必要な子は授乳	3号短時間認定降園 わいわいタイム (0.1.2歳児一緒に遊ぶ)	15:30	2号短降園 バス出発
	随時降園	16:00	随時降園
おむつ交換	あそび		あそび(異年齢)
		17:00	1号認定園児降園完了
		17:45	未満児棟へ移動
	3号短時間認定降園完了	18:00	2号短時間認定降園完了
延長保育 降園完了	延長保育 降園完了	18:30	2号認定園児延長保育
		19:00	2号認定園児降園完了

クラス編成 2023年4月1日現在

年齢	クラス名	園児数		
		男	女	計
0歳児	ひよこ組	2	1	3
1歳児	たんぽぽ組	3	6	9
2歳児	ちゅーりっぷ組	5	7	12
3歳児	みかん組	11	5	16
4歳児	うさぎ組	8	9	17
5歳児	つき組	10	6	16
合計		39	34	73

職員 2023年4月1日現在

職名	人数	職名	人数
園長	1名	子育て支援センター	2名
主幹保育教諭	1名	調理員(委託)	4名
保育教諭	12名	園医(内科医)	1名
保育補助	9名	園医(歯科医)	1名
運転手	1名	園薬剤師	1名

主な行事…

楽しいことがいっぱい!

※毎月誕生会、避難訓練、交通安全指導があります。

4月

- 進級式 入園式
- 節句の会

5月

- 4・5歳児園外保育
- 健康診断(内科、検尿)

6月

- 5歳児園外保育
- 学校評議員会① ●歯科検診
- 保護者早朝奉仕作業

7月

- 若竹まつり
- プール開き
- 個人面談

8月

- 潟上市鷺舞まつり(5歳児)
- 夏休み作品展見学(飯田川小)

9月

- 保護者早朝奉仕作業
- 運動会 ●3・5歳児園外保育
- 幼小にここ交流会

10月

- 4・5歳児園外保育
- 健康診断(内科)

11月

- 祖父母参観
- お楽しみ会

12月

- クリスマス会
- 3・4・5歳児園外保育

1月

- はじまりの会(書道・剣道)
- もちつき会

2月

- 節分の会 ●お別れ会
- 新入園児説明会、面接、健康診断
- 幼小にここ交流会
- 学校評議員会② ●保育参観、保護者会総会

3月

- 雑祭り会
- 卒園式
- 修了式